



水門 義昭 議員

新しく架け替えになる合崎橋!!夢のある欄干を募集!!

合崎橋の架け替え

【問】合崎橋架け替えのスケジュールは。

【答】今年は用地取得等を進め、来年度に工事を着工、平成26年春に完成予定である。

【問】愛され親しまれている橋なので、欄干に対して市民から夢のある提案募集をしたらどうか。

【答】高欄デザインの提案募集は、地域の皆様に愛される橋という観点からも有意義。前向きに検討したい。

都市計画道路の見直し

【問】大新松本線が廃止と聞くが今後の進め方は。

【答】高山市都市計画審議会の諮問を行い、来年3月中に廃止の告示を行いたい。

【問】合崎橋から松本

橋までの間の未整備箇所をどう考えているか。

【答】都市計画道路を廃止しても、これまで同様に必要な整備は実施していきたいと考えている。県による河川改修の実施後に検討。

大学の誘致

【問】熱意を持って誘致推進体制を。

【答】セミナーの開催や市の遊休施設を研究活動の場として活用することなどで、大学機能の一部を誘致するなど、実現可能なアプローチで取り組む。助成制度のPRなどの情報発信にも努める。

地域内分権・地域移譲の考え方

【問】全市域にどのような組織をつくるのか。

【答】今後の協働のま

ちづくりの考えの中で、より活動しやすく成熟した地域づくりの枠組みとして議論を深める。

下水道施設の耐震化と整備計画

【問】硫化水素発生による管渠閉塞事故の再発防止は。

【答】ガスの発生を抑制する薬剤等の使用や、腐食しにくい材質のものを採用する方針。

平成22年度の財務諸表

【問】目標とする中長期貸借対照表の作成は

【答】将来推計が可能な高い精度を目指し、研究していきたい。



合崎橋



橋本 正彦 議員

観光の本格的回復に力を尽くせ

東日本大震災等の影響調査と観光

【問】県「緊急観光戦略会議」の現状分析は。

【答】GWを機に回復傾向。秋以降が心配。

【問】今後の新たな中国等の誘客取り組みは。

【答】官民一体で秋冬を狙う。関西圏を中心に広告掲載など展開。

中国人旅行者は有力で、海外旅行社・メディアを招聘し風評を払拭。

トップセールスの他、自治体との連携など取り組みを促進したい。

職員の懲戒処分に関する規定

【問】今回の不祥事の処分の解釈で「公務内」と「公務外」の区分は。

【答】上司の指揮下であるか否かで区分。今回は地域団体の件であり公務外と判断した。

森林施業補助金の不適正事例

【問】補助金申請の流れと、チェック体制はどうだったのか。

【答】事業は適正で検査は不要との判断が不正を見逃した。今後、現地調査など県と連携し、再発防止に努める。

地域にあった災害対策

【問】国交省の「深層崩壊推定頻度マップ」で推定頻度が高いと予測された地域は。

【答】高山では東部・西部地域となっている。

【問】高山市の避難指示・勧告の基準は。

【答】区域ごとに発令。水害は、主要河川の観測所や橋などの定点で水位を観察。判断基準点より上昇が予想される場合、それぞれ「避難勧告」や「避難指示」。各河川の避難判断項目、

対象区間・町名などの「発令基準対象地域一覧」を整備している。土砂災害は危険性を地域別に把握し、降雨状況により迅速な避難行動が取れる体制である。

【問】新導入の「洪水対策支援システム」とは。

【答】3時間先までの予想降雨量に対応した主要五河川の水位状況が確認できる。洪水の警戒体制を事前に検討でき、適切な避難誘導が可能となる。

【問】防災マップの見直しが必要なのは。

【答】旧市域の4分割と各支所地域のマップがあるが、平成25年度を目処に見直す。



出水による災害現場